

sinrei 榛黎

群馬県立農林大学校

〒370-3105

群馬県高崎市箕郷町西明屋 1005

TEL：027-371-3244

FAX：027-371-6968

http://www.gunma-iaf.ac.jp



百周年の節目を前に

更なる進化を

校長 樋口 努



本校は、平成二十九年度の入校生から新たな教育改革を実施します。平成十九年以来、十年振りとなる今回の教育改革の柱は、農業の六次産業化に対応したカリキュラムの導入によるコースの改編です。現在の「農業コース」を「農と食のビジネスコース」とし、生産から加工、販売に至るまでを実践的に学ぶ事により、六次産業化に対応できる人材を育成します。

また、実践力向上の観点から、実習・演習に重点を置くこととし、就農者の多い「園芸部門」のコース定員を増やし、本県農業の柱である園芸分野の担い手の確保に積極的に取り組むとともに、「森林・環境コース」は林業技術者の養成に重点化し、コース名を「森林コース」とします。

本校は昭和五十八年の開校以来、その前身から堂々と築いてきた実践教育を礎に、本県農林業を担う人材や農林業を支える関連産業従事者を育成してきました。今回の教育改革を進めることにより、この伝統を守りつつ進化させ、新たな農業ビジネスにも対応できる人材や、より実践的で質の高い人材の育成に取り組みたいと考えています。

三年後の二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの年には、そのルーツ（農業技術員養成所）から数え百年を迎えます。今年卒業生は一人を超え、本県農林業を支える農林大ネットワーク。この春には七十二人の卒業生が新たに加わります。

大きな節目を前に、農林業が大きな転換期にある今こそ、農林大ネットワークの絆を深め、この力をバネに農林業界に新風を吹き込み、その発展に貢献できる人材を育成してまいります。



私のすすむ道

野菜コース

伊藤 靖浩



農林大学校に入校したのが、ついこの間のように感じます。この二年間で得たものは、農業の知識と言うよりも人との繋がりであります。やはり実際に農業に従事しなければ、見えな

野菜コース

小林 友幸



私は農林大学校を卒業後、実家に就農します。就農後は、今ま

での学校生活とは大きく違い、朝は早く、夜は遅くまでやらなくてはいけない日もあります。それが仕事なのです。仕事のことで悩む時もあると思います。そのときは農林大で出会った仲間が、いつでも身近にいますし、助け合いながら、時には集まって色々な話もしていききたいです。

花き・果樹コース

大城 美月



私は、あがつま農業協同組合に就職します。これから始まる新人研修を含め、社会人になることに不安を感じますが、くじけず、諦めずに頑張っていきたいと思えます。そして、少しでも不安をなくせるように、農業新聞を読んだり、農協の事業に関する情報を集めるなど努力していきたいと思えます。

地域に貢献できる農協職員になりたいと思えます。これからも笑顔と努力を忘れず、立派な社会人になりたいです。

花き・果樹コース

日里 恭一



私は果樹の普及指導員になりたいです。普及指導員は農業者への高度な農業技術の指導と農業に関する情報提供を中心に、所得向上に向け支援を行う専門職です。農林大では園芸の基礎知識や実践技術を学びましたが、リンゴに関する研究を学ぶため、弘前大学に進学し、高度な学習や研究を通して、知識の研鑽と自身のレベルアップを図っていけるよう努力していきたいです。そして、大学卒業後には、農業者の指導者として未来の農業を支えていきたいです。

酪農肉牛コース

白石 結城

私の実家は野菜農家ですが、高校では牛に興味を持ち、酪農について学べる農林大学校に入校しま

した。ここでの二年間で、酪農に

関する知識や実習を通じて、技術を身につけることが出来ました。



私の雇用就農先は肥育牛四千五百頭、乳牛六百五十頭の乳肉複合経営です。卒業後は、

身に付けた人工授精師の資格やトラクターの資格を活用し、雇用先の牧場で即戦力になれるよう頑張りたいです。そして、おいしい牛肉・牛乳を皆さんに届けたいです。

社会人コース

角田 咲恵



私は事務の仕事に就いていますが、かねてから関心を抱いていた農業に携わりたい思いが募り、農林大学校に入校しました。過去の学生時代では、自身の将来が定まらず、何となく学校に通うだけでしたが、この一年間は自らの意思で、確固たる目標を持つ

て様々な技術や資格の習得に挑戦してきました。来春からはコマツナ等を生産している会社に就職し、これまで学んだことを活かしつつ、更なる技術の向上を目指し精進したいと思います。



農業コース
柿沼 孝明

私が海外研修で、アメリカに行こうと決意したのは、私自身を成長させたいからです。

私の家は、イチ

ゴを主体とした野菜農家です。幼い頃から身近に農業に接してきて、農業経営に興味を持ちました。しかし、農業について学ぶ日々の中で、農業知識や技術が乏しい事を思い知らされました。そこで私は、自分の農業に対する見識を深めたいと考え、海外で農業を学ぶ事を決意しました。自分らしい農業ができるよう努力していきたいです。

森林・環境コース

中村 純子

私が森林に興味を持ったのは、



高校で森林について勉強したことがきっかけでした。森林は、身近な存在なのに知らないことばかりで学ぶことが面白くて、いつしか森林に関係する仕事に就きたいと思うようになりました。

そして農林大に入校して、更に森林・林業について勉強することで、公務員に合格することができました。

これからは、やりたかった仕事としてだけでなく、森林・林業の振興と発展に向けて、一生懸命がんばります。

四県親善スポーツ大会

十月十二日埼玉・長野・新潟・群馬の各農業大学校が新潟県に集い、親善スポーツ大会が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、清々しい白熱したゲームが展開されました。

結果、卓球は新メンバーの活躍もあり優勝。バスケットボールは決勝戦惜しくも二点差で準優勝。



バドミントンは朝のうちは体が動かなかったものの徐々に調子がでて準優勝。バレーボール、初戦は落としましたが次戦は快勝し三位。軟式野球は雨天のためコールドゲームで惜敗。ジャンケンで三位を勝ち取りましたが、不完全燃焼に終わった試合でした。

来年度は、群馬県で開催します。全種目優勝を目指して頑張りますので、応援お願いいたします。

【本校の結果】

卓球	優勝
バスケット	準優勝
バドミントン	準優勝
バレーボール	三位
軟式野球	三位

第三十四回榛の木祭開催

「タカラモノ」すべての作物とすべての出会い」をテーマに、十一月十二日(土)・十三日(日)の二日間開催されました。

両日ともに秋の好天に恵まれ、例年以上に数多くの来場者で賑わいました。そのためか用意した野



菜や花など農林産物が瞬く間に売り切れ、ご来場の皆様にご迷惑をおかけいたしました。豚汁、きのこうどん、焼きそばなどの模擬店や寄せ植え体験、収穫体験、餅つきなどのイベントも好評でした。ステージでは、のど自慢や軽音楽で盛り上げました。チャリティーバザー品へのご協力も感謝いたします。また、展示コーナーでは学生一人ひとりの課題研究を紹介するなど農林大の魅力をPRしました。学生も事前準備等を含めて、くたくたになりながらもひとつのイベントをやり遂げることができ、一回り大きく成長しました。来年も是非ご来場ください。



課題研究の成果を発表!

【校内課題研究発表会】

平成二十八年十一月二十四〜二十五日に開催し、二年生全員が課題研究の成果を発表、一年生の各コース代表が意見を発表しました。【代表課題研究発表会】



平成二十八年十二月九日群馬会館にて校内発表会にて校内発表会で選ばれた課題研究発表七名、意見発表二名により成果発表を行いました。この発表会は関東大会の選考を兼ね、課題研究は最優秀賞に三村千佳さん(花き・果樹)、優秀賞に伊藤靖浩さん(野菜)、優良賞に芝崎春花さん(農業)、意見発表は最優秀賞に関口沙恵さん(野菜)が選ばれ本校代表に決定しました。

【関東ブロック実績発表会・全国農業大学校プロジェクト発表会】平成二十九年一月十九〜二十日に関東大会が茨城県で開催され、伊藤靖浩さん(野菜)が五位で惜しくも入賞は逃しましたが、二月

十三〜十五日に東京で開催された全国大会に参加し、全国の学生と交流を深めました。

地域貢献活動の推進

農林大学校では、自治会活動の基本方針として「地域貢献」を掲げ、昨年



農林大生の持つ実践力及び行動力を生かした活動を推進しています。昨年度は箕輪城まつりへの参加や、地域コミュニティづくりの場の提供として城山フラワークラ

ブの方々と連携し菜の花栽培に取り組みました。更に今年は、みのわの里のきつねの嫁入りへの参加やコスモス栽培を実施しました。また、菜の花やコスモスから種子



を採り、箕輪城まつりでの農産物販売で無料配布して、地域の景観形成活動を呼びかけました。これからも地域の活性化を図ることを目的に「学生による地域貢献活動」を推進していきます。

ぐんま農業実践学校の紹介と研修生の抱負

農林大学校では、就農を志す県民を対象に「ぐんま農業実践学校」を開校しています。四課程八コースがあり、栽培技術



や経営について研修を行っています。修了後、研修生は県内各地で就農し、本県農業を担う存在としてその活躍が期待されています。

野菜専門技術課程 飯塚 章



定年後は、農業を通常考えておりました。就農に当り、「ぐんま農業実践学校」で知識・技術の習得を図り、目標を持って取組みたいと思いました。七日間の座学・実習・視察等により、今後自分が進むべき道を見つけることが出来ました。年齢の違う同級生との出会いもあり、「ぐんま農業実践学校」に感謝しています。

平成29年度自治会役員紹介

私たちは、活発な自治会活動を目指し、役員一人ひとりが力を合わせたいと、生活に貢献できるような学校と学生との架け橋となり、農林大の新たな一歩を踏み出すことを目指します。



- 会長 小林 敦花き・果樹
- 副会長 和田 弘樹(農業)
- 副会長 関口 沙恵(野菜)
- 書記 笹木 諄森林・環境
- 書記 角田 紗也佳(酪農肉牛)
- 書記 萩原 郁也(酪農肉牛)
- 会計 角田 若菜(野菜)